

# 令和6年10月4日 定例記者会見

## 次 第

1. 「日本遺産フェスティバル in 極上の会津」の開催について
2. あいづまちなかアートプロジェクト 2024 について
3. 会津若松市の男性職員における育児休業の取得状況について
4. 「燃やせるごみの削減状況」について
5. その他

日時：令和6年10月4日（金） 10：00より

場所：追手町第二庁舎 2階 第3会議室

## 令和6年度「会津若松地産地消まつり」の開催について

### 1. 目的

会津産農産物の販売や各種事業の展示・ものづくり体験などを通して、本市農業・農村の魅力の再発見・再認識を喚起しながら、地産地消運動の啓発宣伝と本運動に対する意識の向上を図ることを目的とします。

### 2. 概要

- (1)開催日時：令和6年11月2日(土)午前10時～午後3時  
(開会式及び中央保育所による「こぼりんダンス」披露：午前9時45分～)  
令和6年11月3日(日)午前10時～午後3時  
(会津農林高等学校生による「早乙女踊り」披露：午前9時45分～)
- (2)開催場所：鶴ヶ城体育館(会津若松市城東町14-51)内外
- (3)主催：会津若松市地産地消まつり実行委員会、会津若松市



### 3. イベント内容

<昨年からの主な変更点>

- スタンプラリーや来場者アンケートをデジタルで行います。
- 会津地鶏まつりが単独開催ではなく、地産地消まつりの中での出店となりました。
- 会津農林高等学校生が出店します。

<展示コーナー>

①地産地消の概要	地産地消への取組紹介
②地元農産物の生産・消費拡大	米粉・みしらず柿・おたねにんじん・会津地鶏・有機農業の紹介
③会津産米生産振興の取組	会津産厳選コシヒカリ「AiZ'S-RiCE」PR
④食育の推進	食生活改善推進連絡協議会の活動紹介 イラスト等のコンテスト作品の掲示
⑤その他	農業用ドローンの紹介、就農相談窓口の設置、鳥獣被害防止について 会津版ジモノミッケ!、エシカル消費 等

<体験コーナー>

そば打ち体験・種蒔き体験・地産地消料理体験・模擬せり体験・お米量り体験など

<「Aizu マルシェ」コーナー(屋内)> ※17団体が出店

地元農産物や加工品の直売、本市ゆかりの地(横須賀市)の物販

<「Aizu フード」コーナー(屋外)> ※19団体が出店

地元産農産物や会津地鶏を使用した飲食物の販売、  
本市ゆかりの地(むつ市)による飲食物の販売

【お問い合わせ先】会津若松市地産地消まつり実行委員会事務局(市農政課内) 治田、大竹  
TEL: 0242-23-9973 MAIL: nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

(農政課)

# 「AiZ' S-RiCE (アイズライス)」の販売開始のお知らせ 及び会津若松市内でのPR事業について



## 1. 「AiZ' S-RiCE (アイズライス)」の販売開始のお知らせ

### ①概要

会津産コシヒカリの中でも、会津清酒の酒粕を肥料として土づくりに用いた農法で育て、食味値80点以上（かつ、玄米タンパク質含有率6.4%以下）のものだけを厳選した「AiZ' S-RiCE」の令和6年産米の販売を開始致しました。

②販売開始日 11月上旬以降順次販売開始

③取扱店 【会津若松市内取扱店】まんま～じゃ、観光施設など  
【アイズライス特約店】県内外米穀店（首都圏を中心に32店舗）

## 2 会津若松市内でのPR事業について

### ①地産地消まつりでのPR

#### (1) 概要

ア 「AiZ' S-RiCE」ブースにて、公式 SNS (Facebook) をフォローいただいた方に「AiZ' S-RiCE」等が当たる抽選会を開催します。

イ あいづ食の陣とのコラボした特別メニューを提供します。

(2) 日時 令和6年11月2日（土）、3日（日）10：00～15：00

(3) 場所 鶴ヶ城体育館

### ②「伝統会津ソースカツ丼の会」創設20周年イベント

「ありがとうソースカツ丼！」でのPR

#### (1) 概要

今年で創設20周年を迎えた伝統会津ソースカツ丼の会は記念イベントとして「ありがとうソースカツ丼！」が開催されます。

同イベントでは限定メニューとして同会加盟全店のソースをブレンドしたソースを使用し、ご飯には「AiZ' S-RiCE」を使用した「究極のソースカツ丼」が提供されます。

「AiZ' S-RiCE」のおかわり（試食）コーナーも設けます。

(2) 日時 令和6年11月10日（日）11：30～14：00

(3) 場所 ルネッサンス中の島

公式 HP



公式 Instagram



公式 Facebook



## 会津産厳選コシヒカリ「A i Z' S - R i C E」(アイズライス)について ～あいづの厳選米生産推進協議会～

会津地方は、周囲を山々に囲まれており、寒暖の差が大きく、山からは豊かな水が流れ込む米づくりに最適な地域で特に「会津産コシヒカリ」は平成元年に「特A」のランクが創設された「食味ランキング」において33年間で27回「特A」の評価を受けた国内屈指のお米です。

その会津産コシヒカリの中でも栽培方法や食味などによって「厳選」したものが会津産厳選コシヒカリ「A i Z' S - R i C E」です。

### 「A i Z' S - R i C E」の要件

- 1 会津産コシヒカリ1等米
- 2 高い食味値（食味値80点以上、玄米タンパク質含有率6.4%以下）※1
- 3 特別栽培又は特別栽培ガイドラインに沿った栽培※2
- 4 会津清酒の酒粕を肥料として使用した栽培※3
- 5 環境に配慮した栽培※4  
（グリホサート系除草剤及びネオニコチノイド系農薬不使用）

### 令和6年度生産者及び作付面積

会津若松市内の個人・法人14経営体、11.9ha  
のうち合格者は6経営体 5.8ha

### 協議会所在地

あいづの厳選米生産推進協議会（事務局：会津若松市農政課 猪俣、鈴木、五ノ井）  
〒969-3481 福島県会津若松市河東町郡山休ミ石14番地（TEL：0242-23-9973）

### 販売開始日

10月下旬

### 販売開始時取扱店舗（小売）

【市内】ファーマーズマーケット「まんま～じゃ、」観光施設など

【市外】県内外米穀店（首都圏を中心に32店舗）

詳細は公式ホームページ取扱店舗にて <https://aizs-rice.com/store/>

## ※1 食味値

近赤外線分析機で、「アミロース」「タンパク質」「水分」「脂肪酸度」の4つの成分を測定し、食味方程式により食味値を出します。標準は65～70点となっており、70点を超えると70～80%の人が美味しいと感じると言われています。

### 「アミロース」

アミロース値が高いとパサパサして硬いお米となり、割合が16～17%であると「粘りのある」もちもちとした美味しいお米となります。

### 「タンパク質」

タンパク質は水を通さないため、お米の吸水を阻害します。タンパク質が少ないお米は、吸水が良いため、炊き上がりがふっくらとした美味しいご飯になります。

参考 日本の玄米タンパク質含有率平均7.4%

### 「水分」

基準の範囲内で、水分の高い米ほど美味しいお米になります。14%以下の過乾燥米は、炊飯する時にデンプンが糊となって流れ出るため、ベツトリとしたご飯となり、食味が悪くなります。

### 「脂肪酸度」

米の脂肪は、貯蔵中に徐々に酸化されるため、酸化度により古米化の進み度合いが分かります。収穫直後の新米は、10～20mgが標準ですが、時間とともにこの数値は高くなります。脂肪酸化度は、低いほど新鮮で美味しいお米になります。

## ※2 特別栽培又は特別栽培ガイドライン

福島県の慣行栽培に比べて節減対象農薬の使用回数を5割以下かつ化学肥料の窒素分量を5割以下で栽培し、食の安全と農業環境の維持増進を図り、持続可能な農業につなげています。

## ※3 会津清酒の酒粕を肥料に使用

ヒントになったのが会津藩の肝煎、佐瀬与次右衛門によって江戸時代前期の貞享元年（1684年）に書かれた日本最古級の農業技術書「會津農書」。当時の限られた資源を活用しながら農業の要であった「地力」を高めて農業を営んでいました。

酒粕はアミノ酸やビタミンなどの豊富な栄養素が含まれているとともに、優れた発酵食品であることから、土壌の微生物にも良い影響を与え、作物の成長に好影響を与えると考えられています。

あいづの厳選米生産推進協議会では、その効能について専門家の知見を取り入れるべく、福島大学との共同研究にも取り組んでいます。

## ※4 環境に配慮した栽培

人体や環境に悪影響を及ぼす可能性があると言われ、その使用を禁止している国もあるグリホサート系除草剤及びネオニコチノイド系農薬を使用せずに栽培しています。

# 燃やせるごみの削減状況

目標		緊急減量の集計期間 (令和6年9月から11月まで)		前年同期比 12%以上の削減	
		最終目標 (令和8年3月)		令和5年度比 16.4%以上の削減	
月		単月の結果		3か月間の結果	
5月	-8.5%	・5月は8.5%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと3.5%の削減が必要でした。			・4月から6月の3か月間は4.7%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと7.3%の削減が必要でした。
6月	-15.3%	・6月は15.3%の削減(※)となり、目標の12%以上の削減を達成しました。 ※ステーション収集回数について、本年の16回を昨年と同じ18回に補正した場合、9.2%の削減と算定されます。		-4.7%	
7月	+1.9%	・7月は1.9%の増加(※)となり、目標の12%以上の削減まであと13.9%の削減が必要でした。 ※ステーション収集回数について、本年の18回を昨年と同じ17回に補正した場合、1.3%の削減と算定されます。		-7.4%	・5月から7月の3か月間は7.4%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと4.6%の削減が必要でした。
8月	-5.1%	・8月は5.1%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと6.9%の削減が必要でした。		-6.2%	・6月から8月の3か月間は6.2%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと5.8%の削減が必要でした。
9月	-4.8%	・9月は4.8%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと7.2%の削減が必要でした。 ◆9月から11月の3か月間で、目標12%以上の削減を達成するためには、10月・11月は15.5% (平均) の削減が必要です。		-2.6%	・7月から9月の3か月間は2.6%の削減となり、目標の12%以上の削減まであと9.4%の削減が必要でした。